



磨いた技で難関突破 基礎スキーで全国に初挑戦

profile

氏名 平成11年8月5日生まれ。洞爺出身。泉区在住。
趣味はスキー、ドライブ。

Spotlight

スポットライト



洞爺湖スキー連盟

木村 亮太 さん

通い慣れた留寿都村のスキー場に、200人以上のライバルがひしめいていました。1月に行われた全日本スキー技術選手権の道予選。幼少の頃から磨き続けた技をぶつけた結果、待っていたのは念願の全国切符でした。

スキーを始めたのは小学1年生のころ。両親の勧めでゲレンデに通い出して以来「基礎スキー」を続けています。タイムを競うアルペンと違

い、基礎スキーは技の精度やフォームの美しさで得点を争う競技。コンマ1秒を稼ぐため、旗門を縫うように滑ることになるアルペンと違い、どんな滑りで審査員の目を引き付けるか技と工夫が求められます。その魅力を、木村さんは「自分の行きたい所に行ける自由があるスポーツだと思います」と語ります。道予選では、予選、決勝、スパーファイナルと3つの関門を越えなければなりません

んでした。本番では、小幅なターンを数多く繰り返す得意種目「小回り」に加え、よりダイナミックなターンが求められる「大回り」も好調。「予選は楽しみしかなく、手応えを感じながら滑ることができました」と振り返ります。今回の結果は、もちろん日ごろの練習の賜物です。仕事が終わると予選が行われたスキー場に直行。ライバルの動画を見てイメージトレーニングも欠かさず、全国クラスの強豪選手も居並ぶ激戦区を勝ち抜きました。

基礎スキーでの全国出場は、所属する洞爺湖スキー連盟では初めての快挙。自身としても全国は初挑戦となります。予選を戦い終えて吉報を届けてくれたのは、連盟の教え子たちでした。「指導していただいた先生に感謝しています。初出場なので楽しく、悔いのない滑りをしたいです」と気合は十分。恩師や教え子、支えてくれる地域の絆も板に乗せ、大舞台での活躍を誓っています。

東奔西走

基礎スキーに無知な私にも丁寧に説明してくれた木村亮太選手。技の精度や美しさを競うとのことですが、勢いよく滑走しながら理想のフォームを体現するのにどれだけの練習が必要なのか。未知の世界です。(D.Y)
学 生のお子さんがあるご家庭では、毎年この時期は進級・進学準備で忙しくなるかと思ひます。大変かと思ひますが、家族との時間を大切に、晴れやかな気持ちで新年度を迎えていただきたいです。(Y.A)

今月のワンショット



とうや冬まつり